



班ごとに、心を一つにして太鼓をたたいています

長岡小学校は、みんながいつも笑顔で元気いっぱい、長い間行われ、みんなが楽しむにしている「けや

伝統の太鼓

縦割り練習地域に披露

長岡太鼓は、20年以上前から続いています。6年生が1年生に、5年生が2年生に、4年生が3年生にリズムを教える伝承活動を行っています。最近では、班ごとにアレンジを加え、独自性を出した演奏をしています。企画コーナーは、5、6年生が中心となって、スライム作りや脱出ゲーム、お化け屋敷などの企



画を班ごとに考えます。学年ごとに役割を決めて取り組み、普段、交流の少ない他の学年と一緒に遊ぶことができる楽しいコーナーです。これからも、他の学年との交流や地域の方々への感謝の気持ちを大切にしていきたいです。編集委員 佐藤龍馬、菊地美瑚、遠藤さつき(5年)、佐藤凛、佐々木謙、末田晴登、柳沢芽依沙(6年) 指導教諭 尾形彰盛、沼倉圭

長岡小

学校名 大崎市立長岡小学校
所在地 大崎市古川荒谷樋ノ口62の2
電話 0229(28)2202
校長 泉沢 繁
児童 127人



見守り続ける木

校木「けやきの木」は、200年以上前から校庭にあります。今の校舎に建てかえるとき、けやきの木を切ることになったそうです。しかし、当時の地域の方々の「これから生まれてくる子どもたちも、けやきの木に見守ってもらいたい」という願いから現在まで残っています。けやきの木が、いつまでも私たちを応援してくれているのです。



次回は 館腰小(名取市) 東浜小(石巻市)

杉の入小

学校名 塩釜市立杉の入小学校
所在地 塩釜市杉の入1の19の1
電話 022(364)9440
校長 桜田 弘
児童 488人



「しぐさ」を守る

杉の入小には「江戸しぐさ」を参考に、児童会が作成した「杉小しぐさ」という三つの言葉があります。本年度はその中の「気持ち考えやわらか言葉」をもう一度見つけ、広める活動に力を入れてきました。児童が互いに思いやりの気持ちをもって生活できるように、杉小しぐさが当たり前になるための活動を続けていきたいです。



「心が通うニコハキあいさつ」を目指して!

杉の入小学校では、朝「運動」を行っています。会の前に、計画委員会が最初に、みんなが通る通中心となって「あいさつ路の落ち葉の掃き掃除をします。その後、担当する場所に分かれて、全校児童や先生方にあいさつをします。私たちがあいさつ運動で心掛けていることは、一人一人の目を見て笑顔であいさつをすることと、大きな声ではっきりあいさつをすることです。あいさつをした後に、「おはようございます」と元気なあいさつが返ってくる、とてもうれしい気持ちになります。学校では、毎月各学級ですてきなあいさつをしている人に贈られる「ニコハキあいさつ賞」の表彰も行っています。また月に2回は、昇降口前でもあいさつ運動を



行っています。その時は、同じ学区の塩釜市立第二中学校の生徒会の皆さんも参加してくれました。これらの活動を通して、進んであいさつをする人が増えて、学校に「心が通うニコハキあいさつ」が響き渡るようにしていきたいです。編集委員 鎌田一輝、木村円香、佐藤光、鈴木望来、小野洋一郎、川村晴太、平地瑞稀、松田響弥(6年) 指導教諭 石田佳絵、日下秀之

「ニコハキ」

心通わせる朝のあいさつ